

日本政策投資銀行、読売新聞東京本社がCSR協定を締結

～大手町地区の活性化に向けて幅広く連携～

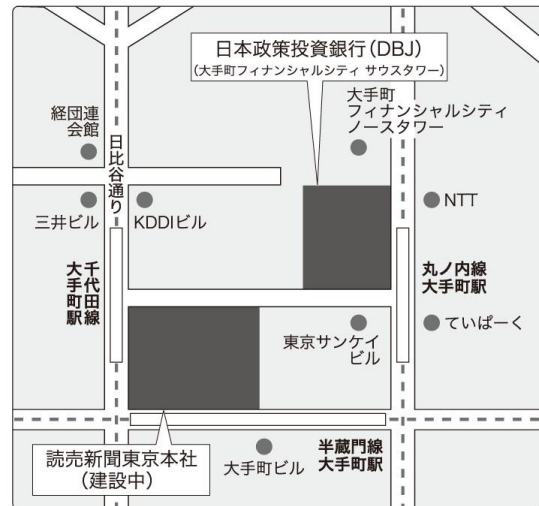
2012年11月26日

株式会社日本政策投資銀行

株式会社読売新聞東京本社

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という＝東京都千代田区大手町1-9-6）と株式会社読売新聞東京本社（代表取締役社長：白石興二郎＝東京都中央区銀座6-17-1）は本日、「大手町地区活性化を目的とした社会貢献事業（CSR事業）に関する業務協力協定」を締結しました。

DBJ本店は本日、大手町連鎖型都市再生プロジェクトの一環として今年10月に竣工した「大手町フィナンシャルシティ サウスタワー」（地上35階建て）に移転しました。大手町フィナンシャルシティの南西側には来年秋、読売新聞東京本社ビル（仮称、地上33階建て）も完成する予定です。この機会にDBJと読売新聞は、業態の枠を越えて幅広く連携し、社会貢献事業の推進を通じて大手町地区全体の活性化を図っていくことになりました。イベント開催や災害時の対応など多方面で協力を進める方針で、具体的な内容については今後の協議で決めていく予定です。



大手町地区は、日本を代表する金融機関や商社、新聞社などが集積しており、日本経済の中心地であるとともに情報発信の一大センターでもあります。大手町の魅力をいっそう引き立てるため、DBJと読売新聞は力を出し合っていきます。

【お問い合わせ先】

(株)日本政策投資銀行 経営企画部 広報・CSR室 電話 03-3244-1180